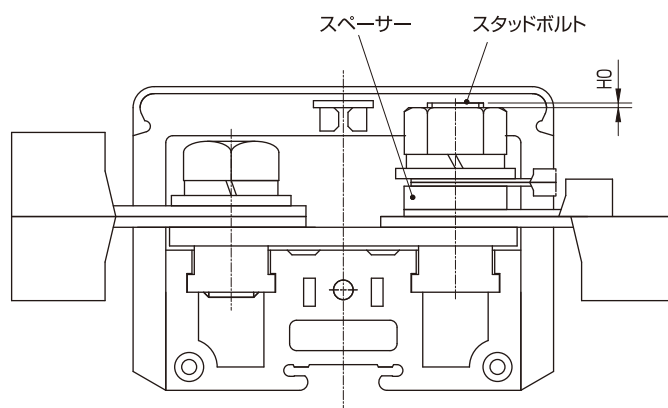


■ 配線時の注意事項

- 1端子ネジ当たりの圧着端子の同時接続は、基本的に圧着端子を背合わせにして2本までとして下さい。圧着サイズが異なる場合は、大きいサイズを下側に小さいサイズを上側に配置して下さい。
- スタッド端子側にスペーサー(オプション品)を介在させることにより、その下側に2本、上側に2本までの圧着端子を接続することができます。
この場合、構造的に接続可能な圧着端子を選択し、スタッドナットの締付け後に、その全ネジ山が確実にスタッドボルトに掛かっていることを確認願います。(H0:締付け後のスタッドボルト有効ねじ長 > 0)



- 配線接続状態での絶縁距離を確保してください。
- 圧着端子筒部が本体側壁と接触したり、圧着端子舌部が大きく曲がらないように配線願います。
- その他、接続条件・方法など不明な点がございましたら、別途お問い合わせ下さい。